

△三百に餘る各社よりの傍聴者 歡迎す。

三社の此の天議を見た三百餘の傍聴者の全部は日頃の不平
不満が一時に爆發し俺達も團結して戦ふぞと絶叫し多。
三ツ輪タクシーも要求書を出し、東京均一も動きつゝあり
社費値下げの声は全市より揚り始めた。

△我が同盟は社費値下同盟を提唱す。

我が同盟はタクシー従業員此の熱烈な要求を支持し最
得のためは全力を擧げたく援し居り今や全市社費値
下同盟を作つて統一的に戦ふべく準備してゐる。

(別紙参照)

従業員諸君に告ぐ

今回諸君の提呈せられた要求書の中納金の多額と密議のため来る十一月十五日
まで同答の保留を希望致して置きましたにも関わらず今日まで執つた私心持た後業
買諸君に充分説明した事には誠に遺憾に堪へない次第でありまして組織の性質上書社と
六小も互に福互の誤解を醸成し立つてあるものでありまして組織の性質上書社と
従業員とは何れも主體であり行方々客體であるといふの正列を付し得られなものであり
とこの女をいすこの組織の中心に従業員諸君は一箇の労働者であると同時に又一箇
の資本家であるといふ事がありましてこれを会社側から見ましても事なる資本の提供者とし
ては分會社が存在するわけではなくて会社も其の債務者に依つて労力を供給してゐる
一箇の労働者であるといふ言ひを得るわけでありまして断然の上記諸君と会社とは同一線上に
立脚してゐる事否寧ろ渾然同一同條であるといふ確心してゐる事だから諸君の苦痛とす
る所は会社も苦痛であり会社の苦痛とする所は諸君の苦痛とする所てなければなら
ないと思ひますお互に理解し合ふといふの事は第一歩であり理解が破壊の前
提であるといふ事は解り切つた話しては有りませぬ人々然るに今諸君の名に依つて提
唱せらるる所は専ら自己の主張のみであつて毫も互諒的精神を發揮してゐない
てありまして諸君は破壊への途を迷んだうてす破壊の直ちに自己の滅亡を意味するも
つてあることと恐へ冷靜に一身の將來に思ひ致されたならば蓋し諸君は傑出したるこ